

## 地球家族プログラム

国際教育交流センターアドバイジング部門

小倉みどり

「地球家族プログラム」では、1998年から、留学生と地域の一般家庭とが国際交流を目的として祝日・週末等とともに過ごすホームステイプログラムを、また2016年度からは、宿泊を伴わないホームビジットプログラムも企画運営している。さらに、外部団体主催のプログラムの募集に協力し、2017年度は主催プログラムと協力プログラムで延べ164人の留学生が参加した。

### 1. 地球家族プログラム主催、ホームステイ・ホームビジットプログラム

#### 【概要】

アドバイジング部門（ACS）の「地球家族プログラム」が主催するホームステイとホームビジットについては、以下のような手順で運営した。

#### ① 日程の決定

ホームステイ1回、ホームビジット3回を実施した。うちNUSTEP（名古屋大学短期日本語プログラム）参加留学生に2回のホームビジットを提供。

#### ② 参加者募集

ホストファミリー（個人登録者及び登録団体代表者）へは郵送やメールにて案内し、留学生へは

毎回、国際棟、国際交流会館の掲示板に掲示し、Facebookやホームページに掲載した。……資料1

#### ③ 応募書類の提出・受領

留学生は申込書をACS事務室に本人が直接持参し提出、更に、ACSカウンターに設置のPC端末で登録した。ホストファミリーは、郵送、FAX、メール添付のいずれかの方法で申し込み書類を提出した。

#### ④ マッチング

ACSにおいて家族構成やペット、喫煙の有無などを考慮してマッチングをし、ホストファミリー宛てに（団体会員の場合は団体代表者宛てにも）結果を郵送した。留学生にはメールで結果（参加の可否）を通知した。

#### ⑤ オリエンテーション

参加留学生に対し、プログラム実施の2週間ほど前にオリエンテーションを行い、ホストファミリーのプロフィールを渡しホームステイの簡単な説明、注意点などを伝えた。オリエンテーションに参加できなかった学生には、個別に説明をした。

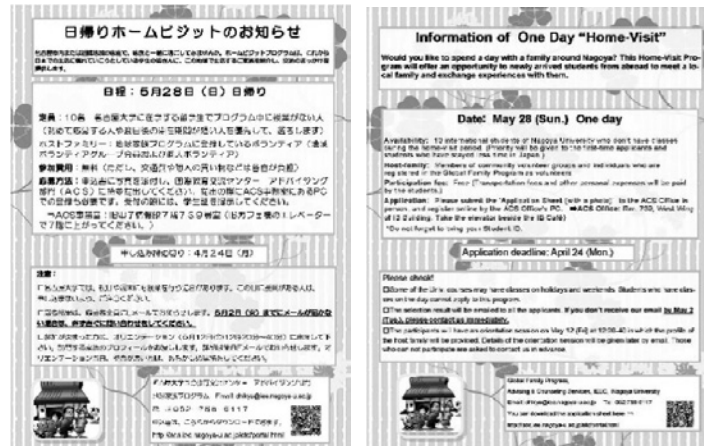
#### ⑥ ホストファミリーと留学生が連絡を取り合い、待ち合わせ場所を決める。

表1 地球家族プログラム主催ホームステイ・ホームビジット

	日程		名称	参加留学生数			ホストファミリー家族数（カッコ内は複数受入家族）*1						
				参加人数	男	女	ハピネス	ポレポレ	大府市	個人	名大生	旭丘高校	名大附属
1	5/28	日帰り	ホームビジット	9	7	2	3		2	4			
2	6/22	日帰り	NUSTEP ホームビジット	20	7	13						3	17
3	11/25-26	1泊2日	ホームステイ	17	5	12	4(+1)		2(+1)	7(+2)			
4	2/17	日帰り	NUSTEP ホームビジット	18	7	11	1	1	2(+1)	5(+4)	3(+1)		
	合計			64									

\*1. ホストファミリーの母数は、個人登録者（名大構成員、同窓生、地域ボランティア20名、団体登録者（Minoホストファミリーハピネス約30家族、国際ボランティアポレポレ約30家族、大府国際交流協会約90家族）

資料1 留学生募集チラシ



- ⑦ プログラム実施
- ⑧ アンケート回収→フィードバック

【ホストファミリー募集方法】

審査の時間的負担等の理由で、地域一般家庭の個人登録については継続者のみとし、名古屋大学関係者からのみ新規登録を受け付けた。全学同窓会支援事業費でホストファミリー学習交流会を実施した。在学生向けには、ACSホームページへの掲載や、名古屋大学新入生オリエンテーションでのチラシの配布をした。

新規のホストファミリー登録希望者には、ACS事務室で30分程度、説明及び面接を行い登録完了とした。在学生の場合は、保護者同伴での面接を実施した。

【フィードバック】

プログラム終了後、留学生、ホストファミリー双方

にアンケートを実施し、ホストファミリーへのニュースレター「地球家族プログラムだより」(資料2)に、総括して掲載した。改善点などの提案は、次回のオリエンテーションで留学生への説明項目に加える等、フィードバックに役立った。

アンケート結果より、昨年度から実施しているホームビジットプログラムは、ホストファミリー側も留学生側も宿泊の準備が不要なため、より気軽に参加でき、新しい出会いの機会になっていると考えられる。

留学生へのアンケートは、以前は手書き又はメールで自由記述で収集していたが、web上のアンケートシステムを利用し、URLを参加者に送る方法に替えたことによって、80%以上の参加者からアンケートを回収することができた。

資料2 地球家族プログラムだより



## 2. 外部団体主催 ホームステイプログラムへの協力

外部団体が企画したプログラムのチラシを受領し、内容や表記上の修正等が必要な場合は団体に伝えて修正いただいたうえで、国際棟や国際交流会館への掲示、facebook への掲載等によって広報に協力した。プログラム終了後は実施報告書を提出していただいた。

## 3. 成果

今年度も164名の留学生在がホームステイまたはホームビジットを通して、日本の家庭生活を経験し、家族と交流することができた。主催プログラムについては事前オリエンテーションを開催し、協力プログラムの場合には主催組織との連絡を密にして、安全かつ学びの多いプログラムにすると共に、留學生と地域社会の交流促進に努めた。夏の NUSTEP ホームビジットでは、普段から交流のある名大教育学部附属中・高等学校および旭丘高校の生徒家族が受け入れを行なった。(2月は当該学校の定期試験期間と重なり生徒家族は受け入れを行なえなかったが、近隣の小学校から今後受け入れをしたい旨連絡をいただいている。)参加者の感想文から、日本で家族ができたことに対する喜び、日本文化や自文化についての新たな発見、今後の勉強や生活への励みを得たことなど、ホームステイが大きな学び・動機づけの機会となっていることがわかる。ホストファミリーや地域社会にとっても留學生への理解

を深める契機となっている。

全学同窓会の助成金により、本プログラムで初めて「ホストファミリー学習交流会」を開催し、日頃留學生を受け入れている家族と大学関係者がともに、ホームステイの現状と課題について学び、意見交換や交流を行なった。家族間および大学と家族との交流やコミュニケーションは、より充実したプログラムの運営に繋がることがわかった。

## 4. 来年度に向けて

- ・2年に一度のホストファミリー登録更新時期のため、個人登録者全員と団体登録者代表者に手続きを依頼する。
- ・名古屋大学在學生及び同窓生、また無償で受け入れをしている団体との連携を継続する。
- ・2019年2月の国際教育交流センター主催短期日本語プログラム NUSTEP に参加する海外の学生の国際交流活動として、ホームビジットプログラムを提供する。
- ・名古屋大学教育学部附属中・高等学校をはじめ、地域の高校、および近隣の小学校の国際交流の要望に対し、ホームステイ・ホームビジットの受け入れを提案する。
- ・信頼のおける外部団体によるホームステイには引き続き協力する。
- ・多様な学生、多様な家族（海外育ちの日本人学生、一人世帯など）の参加についても引き続き検討しながら、時代に合ったホームステイ・ホームビジットの企画に繋げる。

表2 外部団体主催ホームステイ

回数	日程		主催団体	参加留學生数			ホストファミリー家族数
				参加人数	男	女	
1	4/29-30	1泊2日	ヒッポファミリークラブ・GW	9	5	4	9
2	5/3-6	3泊4日	津市市民交流課	4	1	3	4
3	8/5-7	2泊3日	ヒッポファミリークラブ・夏	16	9	7	16
4	10/7-8	1泊2日	はんだ山車祭りポレポレ	7		7	6
5	11/18-19	1泊2日	ヒッポファミリークラブ・秋	36	15	21	36
6	12/15-17	2泊3日	知多市国際交流協会	7	3	4	7
7	12/23-24	1泊2日	ヒッポファミリークラブ・冬	10	2	8	10
8	3/17-18	1泊2日	ヒッポファミリークラブ・春	11	7	4	11
合計				100			100

\* 1. ホストファミリーの母数は、ヒッポファミリークラブ 約400家族、知多市国際交流協会 約50家族、ポレポレ30家族